

温故創新 Vol.8

豊中らしさを創る

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

<http://matsuoka-akimichi.net>



編集・発行／豊中から日本を動かす会

松岡あきみちと、もっと市議会！

公約を守って欲しい！

選挙期間中に全戸配布される選挙公報には、立候補者の公約が書かれています。当選した議員36人のうち、31人が共通して取り上げた公約は「教育、子育て、子ども、学校」でした。

選挙の結果から「豊中の教育を何とかして欲しい」という世論は明白です。これまで以上に、市議会は教育について取り組まなければいけません。

教育再生の特別委員会を提案！

私の所属する新党派「ネクスト豊中」は、社会問題にもなっている「いじめ、不登校」を中心として、これまで以上に教育に取り組む姿勢です。そこで、文教常任委員会に留まらず、教育再生のために特別委員会の設置を求めました。

他の党派からの賛同を得るも・・・

ネクスト豊中の提案と主張を同じくする党派もありましたが、教育再生の特別委員会は設置見送りとなりました。その理由は、各党派の主張がバラバラで一致しなかったからです。主張のなかには、選挙公報のどこにも書いていない意見が、少なからずありました。

選挙公約をチェックしてください。

どうして、公約を軽視するのでしょうか？残念ながら、有権者のみなさんがそんな政治を許してきたからです。公約をチェックする手段が乏しいことも問

題ですが、みなさんが無関心である限り、決して政治はよくなりません。

2特別委員会を設置

各党派で意見が一致した「空港問題」「行財政改革・地方分権」について、特別委員会が昨年引き続き設置されることになりました。

私は、**行財政改革・地方分権特別委員会の委員を務めること**になりました。

特別委員会の新設を継続審議

昨年まで豊中市議会には、4つの特別委員会がありました。今回設置できなかった2つの特別委員会については、幹事長会議などで継続審議されることになりました。

無所属議員ながら、こうした権能ある会議に出席できるネクスト豊中は、選挙によって得られた民意を反映するべく、豊中の公教育再生のためにひきつづき努めてまいります。

みなさんも声をあげてください

お近くにいる議員、駅前で見かけた議員に「教育に取り組んでいますか？」と尋ねてみてください。ほとんどの議員が公約に掲げているのですから、議員の責任を求めてください。有権者が議員に指摘することで、議員の意識は必ず変わります。みんな、よりよい豊中を実現させましょう。

山形県上市・酒田市を行政視察

一泊二日で山形県の内陸にある上市市、日本海沿岸の酒田市へ、会派での行政視察を実施しました。

上市市では、議会運営について調査しました。議会日程の一部を日曜日に実施し、市民の議会傍聴を積極的に促し、市政への関心を高めています。豊中でも休日議会を議論するため、勉強してきました。休日議会の問題は議員の休日出勤ですが、上市市は代休で対応しており、休日議会による財政負担は少ないそうです。

酒田市では、中心市街地での再開発について調査しました。マンション、病院、老人健康センター、薬局、商店などが集積した施設をつくり、コンパクトシティを形成しています。高齡社会のまちづくりのモデルとして参考にしていきたいです。



※ご意見感想をお聞かせください。

TEL:06-7178-7785 (携帯へ転送します)

FAX:06-6871-0632 (後援会事務所)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

略歴

市立 しんでん幼稚園卒園
市立 南丘小学校卒業
市立 第九中学校卒業
府立 北野高等学校卒業
同志社大学法学部政治学科卒業
池田市長、茨木市議インターンシップ
箕面市公募委員(公共下水道)
大阪府信連職員(JAバンク大阪)

現在

無所属/ネクスト豊中
豊中市議会議員(最年少27才)
文教常任委員
行財政改革・地方分権特別委員
養護老人ホーム組合議会議員
豊中ラグビースクールコーチ
NPO 法人 JASSE 代表理事

インターンシップ生がやってきました!

インターンシップとは、学生が就学前に現場に入って研修を受けることです。前号で紹介したとおり、議員インターンシップが豊中でも始まりました。

八月から二ヶ月間、滋賀県在住の近畿大学生、京都在住の立命館大学生の二人が、私のところでインターンシップをしてくれます。二人にはブログで自己紹介をしてもらいたいと思っています。

私自身もインターンシップを経て、議員になりました。これまで政治家になるためには、①政治家の秘書を務める②党员となつて、後継者指名を受ける③圧力団体を代表するなどの方法でした。議員にはなれませんでした。議員インターンシップは、このような閉ざされた政治の世界を広げるためのものです。

「カネなし、コネなし、無所属」でも、やる気があれば議員になれるきっかけとして、豊中にも議員インターンシップを導入しましたが、そうした議員を誕生させるためには、みなさんの政治への関心が不可欠です。

「ちよっと気ままだに、ふれあいタイム」実施中!

・ 毎週火曜日 十時～十一時半
 ・ 市役所議会棟 受付で呼び出してください。

予約は不要ですが、出張などで不在の場合がありますので、事前に連絡いただくと確実です。

☆連絡先☆
 06-7178-7785
 (携帯へ転送されます)



とよなか創政記

「歩きタバコとポイ捨てやめよう」

メールやファックス、手渡しなどでみなさんのお声をいただきました。とくにタバコについては、マナー違反が多いみたいです。歩きタバコで被害にあわれた方もいらっしゃる、喫煙される方は、注意していただきたいと思っています。

「他市のように条例で取り締まる」というお声もありましたが、これからの研究課題とさせていただきますと思います。

なぜなら、他市というのが東京都や大阪市など都心部で、豊中を同じケースには当てはめられないからです。都心部は近隣都市から多くの人が集まっています。だから、ポイ捨てされるゴミや、歩きタバコの被害から市民を守らなくてはいけないので、条例化しています。しかし豊中は近隣都市です。駅前で散らかっているゴミのほとんどは、豊中市民が出したと考えられます。同じ市民を条例で取り締まる前に、取りまなければならないことがあると思います。

私は、美はり番活動に参加させていただきました。ポイ捨ての現状を知ることができました。「美はり番」は、豊中市長から権限委譲をうけて、道路や電柱に貼られている違法広告を撤去回収できる、地域の清掃ボランティアチームです。

週に一度活動されている、ある「美はり番」の活動では、半時間ほどでゴミ袋二つ分のゴミを拾うことができました。捨てられたタバコは、雨で溶けた後に凝固し、道路にへばりついて取れません。割れたヒンは危険ですし、異臭を放つゴミも

ありました。花壇が灰皿がわりにされているのは、とても悲しくなりました。

こうしたボランティアの方のおかげで町の景観は保たれており、清掃業者に支払う費用が低減されて、税金を節約できています。通勤通学途中に道路の脇を、注意深く見てください。色んなゴミが落ちています。ボランティアをしてくださる方は歓迎ですが、なかなか時間に余裕がないと思います。

今すぐ、
 私たちが、
 町のためにできることは、「ゴミをいじりでも捨てないこと」です。めっちゃ簡単なことなので、全員でしましょう。ボランティアの方が助かりますし、清掃に税金をかけなくて済みます。



美はり番活動で収集したポイ捨てゴミ

地元の世論調査

松岡あきみちの活動をお知らせするだけでなく、「こんなことに取り組んで欲しい!」「この件について調べて欲しい!」というみなさんの声を聞き、双方向の関係を創っていきたいと思います。また、そろそろ活動報告会も開催したいと考えていますので、みなさんの声を聞かせてください。
 以下のアンケートにお応えいただき、切取線で切り離して街頭で手渡ししていただくか、メールやFAX(表面参照)でも受け付けております。ご協力をよろしくお願いいたします。

Q1.あなたについて教えてください。/年齢()才/性別(男・女)

Q2.あなたが関心をもっていることについて、聞かせてください。その他、自由にご意見ください。